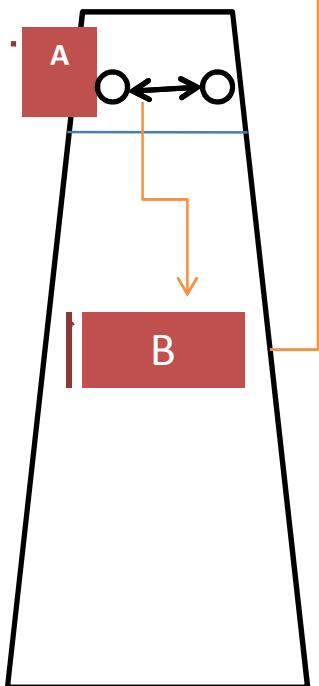


## 《日本的精神主義構圖》

$A \rightarrow B \rightarrow C'' = C_2$  (西歐概念の後楯化現象)  
参照:別紙

◎C2: 後楯・護符(西歐概念=上位概念)

絶對的自己肯定



[表象の概念(左圖:日本)と、客體化による概念(下圖:西歐近代)との違ひ]

…下圖(西歐近代化)には「自己の必然と化する」がある。

\* 何故日本は「自由或は資本主義化・民主主義化・個人主義化」を選択するのか。西歐が近代でそれら概念に客體化して見せた「神に型どれる人間の概念の探究」を、日本も「形ある『物』として(それら新漢語の裏に)見せる」と言ふ事が「So called」なのである。

**A的(現實的)客體化:**  
「A客體  $\longleftrightarrow$  A''主體」

即ち、「神に型どれる人間の概念の探究」として齋されたもの…資本主義・民主主義・個人主義・自由主義等各種近代概念

精神の政治學ラインの最下降化

